

奔西走



製の簡易トイレより、使いやすいとのこと



苦田ダム(鏡野町 写真:県HPより)

ムダ止めて水道料金値上げ回避を

8月18日の岡山市水道事業審議会で、今後水道料金値上げを議論すると確認されました。市水道局は毎年の赤字で2025年度に内部留保資金がマイナスになると説明、この打

開策として、次回の審議会から水道料金見直し(値上げ)を議論していくとしました。時期は未定です。

ムダの“聖域” 苦田ダム

しかし水道事業には審議会では報告されなかった巨大なムダがあります。苦田ダムです。市は日量10万トン分の割り当てと、日量4万トン余を使った料

金として年23億円を広域水道企業団に払っています。しかし市の独自水源でまかなえる“過剰な受水”であり、赤字の原因です。さらに苦田ダム第2期工事の計画まであり、いっそうお金がかかります。ムダ止めて値上げ回避を東市議は水道料金値上げに反対です。水道事業会

計の改善のために▼水は市の独自水源でまかない、苦田ダムからの受水にメスを入れること▼第2期工事は行わないこと▼必要に応じて一般会計からの繰り入れも検討することを提案しています。

水道事業に限らずお金の使い方は、ムダをただし暮らし優先にすることを東市議は求めています。

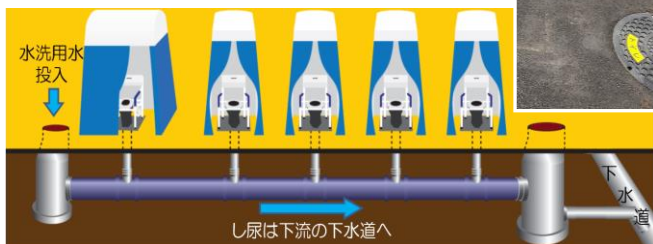
設置すすむ 災害用マンホールトイレ

平福小学校の体育館南に、マンホールトイレを作る工事が進んでいます。普段は小さいマンホールですが、災害時に便座を乗せてテントを張ればトイレになります。段ボール製の簡易トイレより、使いやすいとのこと



ここにマンホールトイレを設置します(平福小)→

マンホールトイレの使用例↓ (国交省のHPより)



毎年すすむ設置

東市議は2017年の11月議会でマンホールトイレの普及を求め、毎年設置が進められています。市内で設置している学校は現在9。南区では芳明小、芳泉小、南輝小にあります。東市議はさらなる普及を提起しています。

学校給食委託推進に異議アリ

岡山市は8月2日の学校給食運営検討委員会で、小中学校給食調理の民間委託割合を、現在の6割から7割に増やす意見をまとめました。2008年度までは5割でした。際限ない民間委託推進に道理はありません。給食のノウハウの維持には市直営の調理が必要です。市がアレルギー対応給食を検討している現在、ノウハウの維持はいうそ重要です。

民間委託「安い」と言えるのか

民間委託にかかる経費は増加傾向です。10月から岡山県



国葬に反対 超党派で申し入れ

8月29日、日本共産党岡山市議団の5人と羽場頼三郎市議、鬼木のぞみ市議で、市当局と教育委員会に「安倍元総理の『国葬』に際して対応しないよう求める申し入れ」を行いました。国葬の中止を求めるとや、半旗掲揚や弔意よび

の最低賃金が30円上がります。給食の委託業者の調理員は最低賃金ギリギリで募集されていることが多くあり、委託費増大は不可避です。なお、市は3年に1度の契約更新の時まで委託費を見直しません。委託業者にとって最大2年半、賃上げ分自腹を切るハメになります。

民間委託拡大は中止を

東市議は、アレルギー対応や地産地消など給食の充実のためにどんな体制が必要か、から考えるべきと指摘。「委託拡大ありき」に反対です。



8月28日、岡山市は総合防災訓練を平福小学校で開きました。東市議は地元町内会の役員として参加、避難所用ベッド組み立てや、応急処置などを学びました。

かけをしないよう求める内容です。

岸田総理は国葬を、安倍政治を国として礼賛する機会にしています。法的根拠もありません。

対応した総務局長は、今回の申し入れも踏まえて考えていくと答えました。

東市議は消防団の一員としても火災対応や地域防災に取り組んでいます。7月17日には心肺蘇生(CPR)の練習をしました。



つよし

コロナの行動規制のない夏でしたが、感染拡大に警戒し、子どもたちの外出は控えめにしていました。ただ「夏休みの宿題で乳しぼりの絵を描きたい!」という小一の子の主張に、ドイツの森で乳しぼり体験をしました。(東つよし)

